

UNION PRESS

埼玉大学教職員組合 No.3(2026年7月号)

ランチイベント開催報告：「データで読む、わたしたちの職場の『いま』」

6月29日(月)、教職員組合主催のランチイベント「データで読む、わたしたちの職場の『いま』」を開催しました。当日は22名の皆さまにご参加いただき、軽食を囲みながら、職場環境に関するアンケート結果をもとに意見交換を行いました。

前半では、教職員組合執行委員でもある岡村利恵准教授(ダイバーシティ推進センター)より、2025年度に実施された「埼玉大学 第4回男女共同参画推進に関する意識・実態調査」の結果について報告がありました。後半は小グループに分かれ、調査結果を踏まえた意見交換や、それぞれの職場で感じている課題について活発なディスカッションを行いました。

例えば、「上司や同僚に男女差別意識がある」と感じている割合は男性より女性の方が高いという結果については、自身の職場での経験と重なるという声が聞かれました。

また、学生を対象とした調査では、「相手が女性か男性かによって仕事や研究への期待や要求が異なるのは仕方ない」と考える学生が、男子学生では6割弱、女子学生でも4割弱に上ることが紹介され、「学生の段階から性別役割意識が形成されていることに驚いた」といった意見も出されました。

実施後の参加者アンケートでは、「調査結果からさまざまなことが読み取れ、とても勉強になった」「普段お会いする機会のない教職員の方々と交流できてよかった」といった感想が寄せられました。限られた時間ではありましたが、調査結果を単なる「数字」として捉えるのではなく、それぞれの立場から感じていることや職場の課題を共有し、理解を深める貴重な機会となりました。一方で、「他の国立大学法人や民間企業との比較もあると、より理解が深まったのではないか」「時間が限られていたため、聞きたいことを十分に聞けなかった」といったご意見もいただきました。いただいたご意見を今後の企画に生かし、引き続き、教職員同士が気軽に交流し、学び合える場をつくっていきたいと考えています。

*イベントで紹介された

「埼玉大学 第4回男女共同参画推進に関する意識・実態調査
報告書ショートレター」はこちらから閲覧できます →



